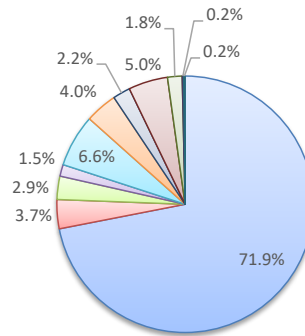


## 高校生の就職に関する意識調査《保護者》

【1】 現在のお住まいはどちらになりますか。

鹿屋市(71.9%)、肝付町(6.6%)、錦江町(5.0%)、志布志市(3.7%)となっている。

回答	件数	割合
鹿屋市	392	71.9%
志布志市	20	3.7%
垂水市	16	2.9%
曾於市	8	1.5%
肝付町	36	6.6%
東串良町	22	4.0%
大崎町	12	2.2%
錦江町	27	5.0%
南大隅町	10	1.8%
鹿児島県内(1~9以外)	1	0.2%
その他	1	0.2%
合計	545	100%

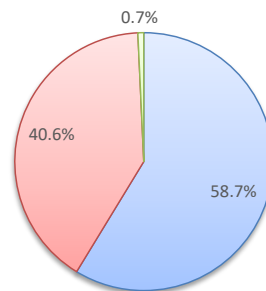


- 鹿屋市
- 志布志市
- 垂水市
- 曾於市
- 肝付町
- 東串良町
- 大崎町
- 錦江町
- 南大隅町
- 鹿児島県内(1~9以外)
- その他

【2】 お子さんの性別を教えてください。

男(58.7%)、女(40.6%)となっている。

回答	件数	割合
男	320	58.7%
女	221	40.6%
無回答	4	0.7%
合計	545	100%



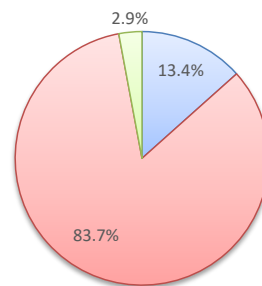
- 男 320
- 女 221
- 無回答 4

【3】 お子さんとの続柄を教えてください。

母親(83.7%)、父親(13.4%)となっている。

回答	件数	割合
父	73	13.4%
母	456	83.7%
その他	16	2.9%
合計	545	100%

【その他】  
・祖父母 ・長女 ・次女 ・子



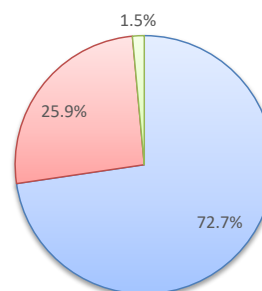
- 父
- 母
- その他

【4】 高校卒業後のお子さんの希望する進路は何ですか。(1つ選択)

進学(72.7%)、就職(25.9%)となっている。

回答	件数	割合
進学	396	72.7%
就職	141	25.9%
その他	8	1.5%
合計	545	100%

【その他】  
・どちらでも本人が進みたい方を  
・まだ、進学か就職か決まってない  
・公務員



- 進学
- 就職
- その他

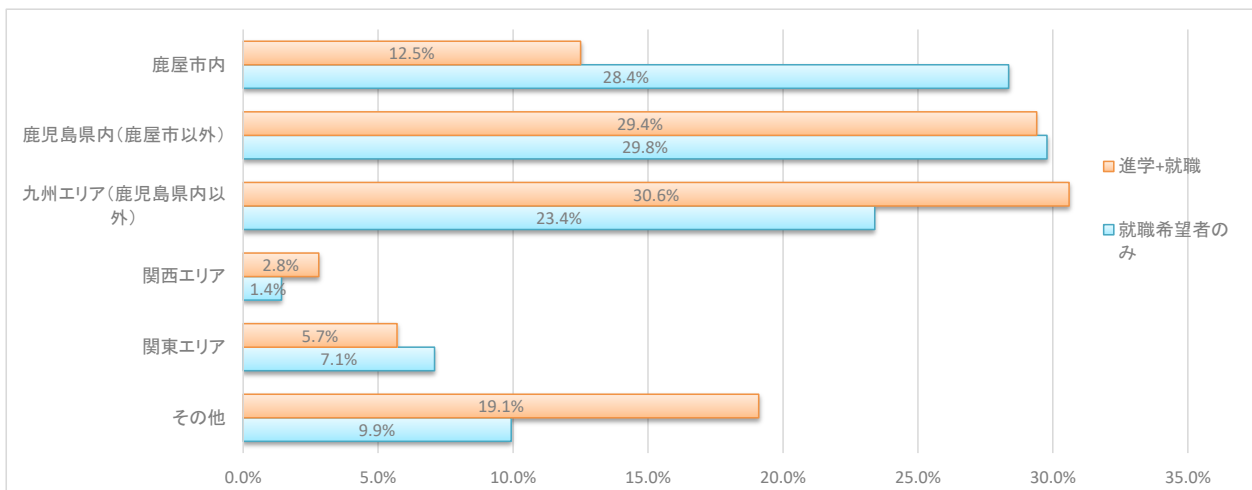
## 高校生の就職に関する意識調査《保護者》

【5】 高校又は進学先を卒業後、お子さんの就職先はどこを希望しますか。（1つ選択）

- ・将来希望するお子さんの就職先は、「九州エリア(県外)」30.6%、「県内(鹿屋市外)」29.4%、「鹿屋市内」12.5%となっている。
- ・うち、就職希望者で見ると、「県内(鹿屋市外)」29.8%、「鹿屋市内」28.4%、「九州エリア(県外)」23.4%となっている。

回答	進学+就職		就職希望者のみ	
	件数	割合	件数	割合
鹿屋市内	68	12.5%	40	28.4%
鹿児島県内(鹿屋市以外)	160	29.4%	42	29.8%
九州エリア(鹿児島県内以外)	167	30.6%	33	23.4%
関西エリア	15	2.8%	2	1.4%
関東エリア	31	5.7%	10	7.1%
その他	104	19.1%	14	9.9%
合計	545	100%	141	100%

- 【その他】
- ・子どもの希望するところ 20件
  - ・本人の意思を尊重 8件
  - ・どこでも 4件
  - ・九州エリア(鹿児島県含む)、九州エリア(鹿屋市含む) 3件
  - ・鹿児島県内(鹿屋市含む) 3件
  - ・日本国内、特になし 3件

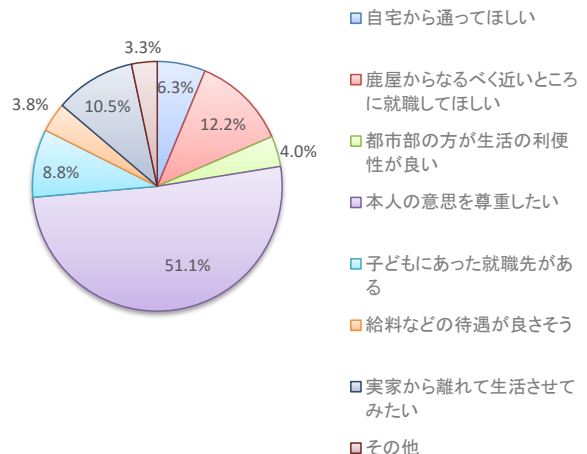


【6】 問5について、その回答を選択した理由を教えてください。（※複数選択可）

- 「本人の意思を尊重したい」51.1%、「鹿屋からなるべく近いところに就職してほしい」12.2%、「実家から離れて生活させてみたい」10.5%、「子どもにあった就職先がある」8.8%、「自宅から通ってほしい」6.3%となっている。

回答	件数	割合
自宅から通ってほしい	49	6.3%
鹿屋からなるべく近いところに就職してほしい	96	12.2%
都市部の方が生活の利便性が良い	31	4.0%
本人の意思を尊重したい	401	51.1%
子どもにあった就職先がある	69	8.8%
給料などの待遇が良さそう	30	3.8%
実家から離れて生活させてみたい	82	10.5%
その他	26	3.3%
合計	784	100%

- 【その他】
- ・いろいろ経験してほしい
  - ・県外はコロナ禍の中であまり行ってほしくない
  - ・県内であれば何かあった時すぐに帰って来れる距離だから
  - ・指定された場所の居住が義務の仕事
  - ・鹿児島だけでなく視野を広げてほしい。
  - ・本人が困ったときにすぐに助けられる環境でありたい
  - ・県内にこだわりませんが、遠くないところを望みます

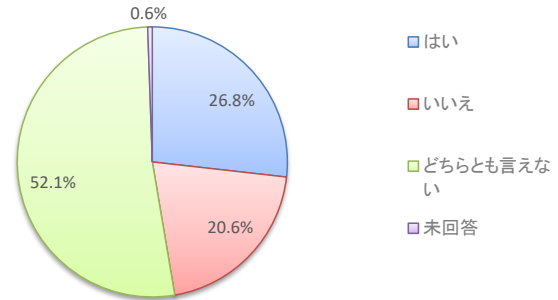


## 高校生の就職に関する意識調査《保護者》

【7】 お子さんの就職先を考えると、地元企業を検討すると思いますか。あわせて理由も教えてください。（1つ選択）

「どちらとも言えない」52.1%、「はい」26.8%、「いいえ」20.6%となっている。

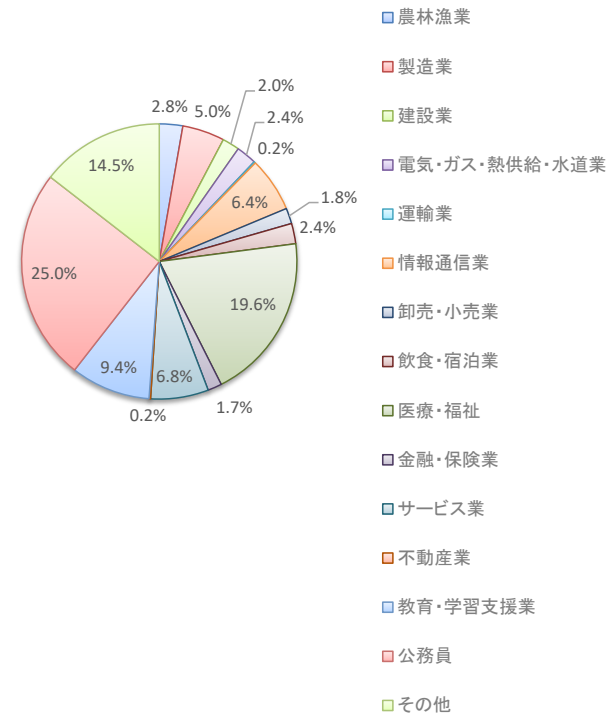
回答	件数	割合
はい	146	26.8%
いいえ	112	20.6%
どちらとも言えない	284	52.1%
未回答	3	0.6%
合計	545	100.0%
【理由】 別紙参照		



【8】 お子さんの就職先は、どのような業種を希望しますか。（1つ選択）

「公務員」25.0%、「医療・福祉」19.6%、「その他」14.5%、「教育・学習支援業」9.4%、「サービス業」6.8%、「情報通信業」6.4%となっている。

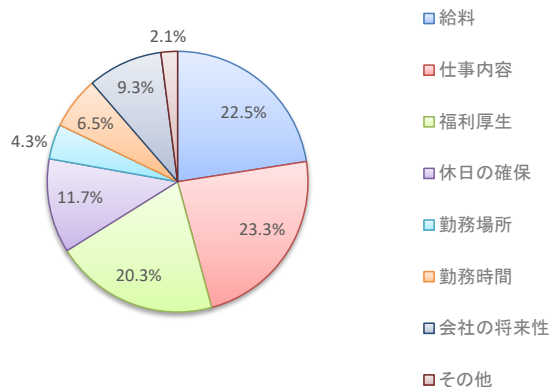
回答	件数	割合	
農林漁業	15	2.8%	
製造業	27	5.0%	
建設業	11	2.0%	
電気・ガス・熱供給・水道業	13	2.4%	
運輸業	1	0.2%	
情報通信業	35	6.4%	
卸売・小売業	10	1.8%	
飲食・宿泊業	13	2.4%	
医療・福祉	107	19.6%	
金融・保険業	9	1.7%	
サービス業	37	6.8%	
不動産業	1	0.2%	
教育・学習支援業	51	9.4%	
公務員	136	25.0%	
その他	79	14.5%	
合計	545	100.0%	
【その他】			
・本人の意思を尊重	18件	・なんでもいい	5件
・特に無し	2件	・自動車整備士	2件
・IT		・システムエンジニア	
・放送関係		・英語を生かせる業種	



【9】 お子さんの就職先を考える上で、特に重視するものは何ですか。（3つまで選択）

「仕事内容」23.3%、「給料」22.5%、「福利厚生」20.3%、「休日の確保」11.7%、「会社の将来性」9.3%となっている。

回答	件数	割合
給料	329	22.5%
仕事内容	340	23.3%
福利厚生	297	20.3%
休日の確保	171	11.7%
勤務場所	63	4.3%
勤務時間	95	6.5%
会社の将来性	136	9.3%
その他	30	2.1%
合計	1,461	100%



## 高校生の就職に関する意識調査《保護者》

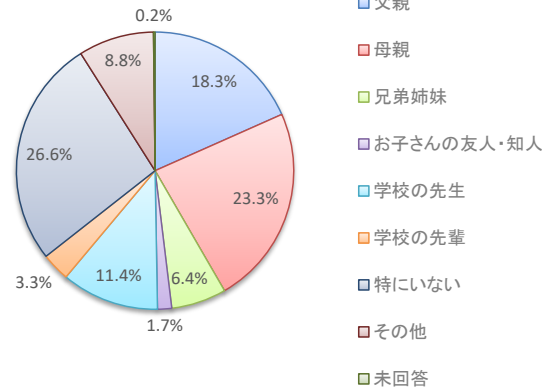
【10】 お子さんの就職にあたり、どなたの意見が最も影響力があると思いますか。（1つ選択）

「特にいない」26.6%、「母親」23.3%、「父親」18.3%、「学校の先生」11.4%となっている。

回答	件数	割合
父親	100	18.3%
母親	127	23.3%
兄弟姉妹	35	6.4%
お子さんの友人・知人	9	1.7%
学校の先生	62	11.4%
学校の先輩	18	3.3%
特にいない	145	26.6%
その他	48	8.8%
未回答	1	0.2%
合計	545	100.0%

【その他】

- ・SNS等 ・趣味 ・祖父 ・祖父 ・本人
- ・希望する業種に就いている方
- ・誰の意見でも参考にする
- ・本人の意思が1番重要
- ・就職まで時間があるためわからない



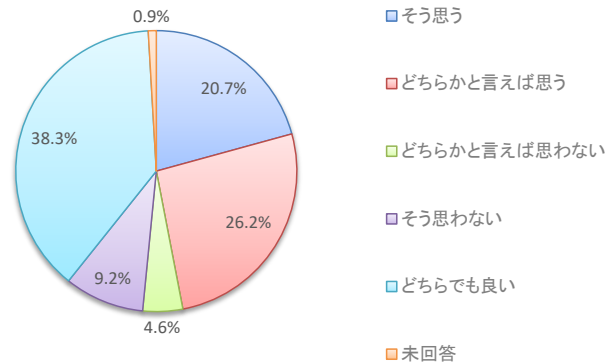
【11】 卒業後に県外で就職しても、将来的には地元で働いてほしいと思いますか。（1つ選択）

「どちらでも良い」38.3%、「どちらかと言えば思う」26.2%、「そう思う」20.7%となっている。

回答	件数	割合
そう思う	113	20.7%
どちらかと言えば思う	143	26.2%
どちらかと言えば思わない	25	4.6%
そう思わない	50	9.2%
どちらでも良い	209	38.3%
未回答	5	0.9%
合計	545	100%

【理由】

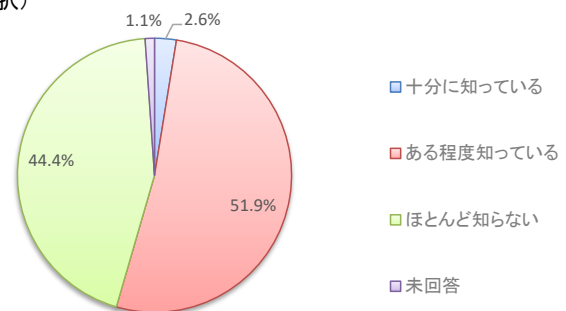
別紙参照



【12】 鹿屋市の企業について、どのくらい知っていますか。（1つ選択）

「ある程度知っている」51.9%、「ほとんど知らない」44.4%、「十分に知っている」2.6%となっている。

回答	件数	割合
十分に知っている	14	2.6%
ある程度知っている	283	51.9%
ほとんど知らない	242	44.4%
未回答	6	1.1%
合計	545	100%



## 高校生の就職に関する意識調査《保護者》

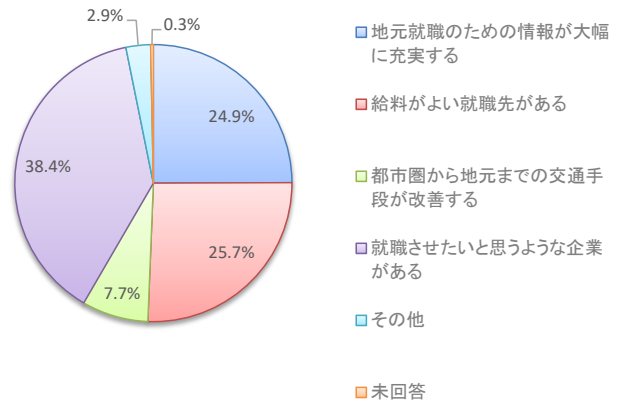
【13】 お子さんが地元で就職するためには何が必要だと言えますか。（※複数選択可）

「就職させたいと思うような企業がある」38.4%、「給料がよい就職先がある」25.7%、「地元就職のための情報が大幅に充実する」24.9%、「都市圏から地元までの交通手段が改善する」7.7%となっている。

回答	件数	割合
地元就職のための情報が大幅に充実する	235	24.9%
給料がよい就職先がある	242	25.7%
都市圏から地元までの交通手段が改善する	73	7.7%
就職させたいと思うような企業がある	362	38.4%
その他	27	2.9%
未回答	3	0.3%
合計	942	100%

【その他】

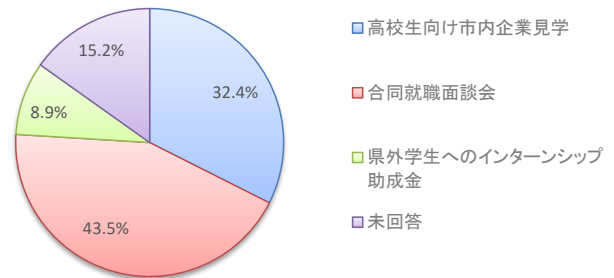
- ・Uターン就職者同士のコミュニティの場があるか
- ・子どもが就職したいと思うような企業がある
- ・本人の希望する職種が地元にある
- ・給料と福利厚生、休日、残業のバランスが取れている
- ・子供たちのスキルを活かした産業が根付けば定着するのは？賃金も都会並みに上げるよう県と市で働きかけてほしい。定着＝産業の発展。IT通信・農畜産業が発展すること。PRも足りない。
- ・充実した余暇を過ごせる場所が豊富にある
- ・親が決めることではない



【14】 鹿屋市の実施している地元就職支援について、知っている事業を選んでください。（複数選択可）

「合同就職面談会」43.5%、「高校生向け市内企業見学」32.4%、「県外学生へのインターンシップ助成金」8.9%となっている。

回答	件数	割合
高校生向け市内企業見学	216	32.4%
合同就職面談会	290	43.5%
県外学生へのインターンシップ助成金	59	8.9%
未回答	101	15.2%
合計	666	100.0%



【15】 今後、本市が取り組む就職支援事業について、御要望がございましたらご記入ください。

回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業の支援、見学なども必要だが、県外企業の誘致（工場だけでなく、研究施設などを含めたもの）が必要ではないか。決まった職種では優秀な人材は地元を離れざるを得ない。</li> <li>・いろいろ鹿屋市、鹿児島市の就職を学生に情報がたくさんほしいと思います。</li> <li>・このアンケートの作成に携わっているすべてのの方々にリープフロッグをかますぐらいの意識改革がない限り、これまでと少しだけ違うことをしたところで何も現状は変わらないと思います。色々な書籍を読んで勉強して、まずは自分達が変わらなければという意識だと思います。私も含めて。</li> <li>・どんな支援事業があるのか、情報が欲しい。</li> <li>・ボランティアや体験ができる事業所を増やしてほしい。</li> <li>・もっと情報が欲しい。早い段階で。できたら高校進学の際に。</li> <li>・もっと大きな商業施設があれば良いと思います。</li> <li>・何となくインパクトが弱い高校側が地元就職を推薦出来る様に取り組みをして欲しい。また、Uターン就職先が少ないから、将来的に帰って来いと強く言えない。</li> <li>・各校に向けての長期休業中の各職場の実習（アルバイト・職場体験）や専門科ごとの地元企業の実習があれば目標も立てやすいと思います。</li> <li>・学生が選べる企業が少ないので、改善して欲しい。</li> <li>・県外へ進学した学生が卒業後、地元で就職できるような情報を、知ることができるようにしてほしい。</li> <li>・高校での説明会のようなものを年に数回設けたり、卒業生で本市に就職している人の話を聞いたりする機会をつくってほしい。</li> <li>・高校に来ている地元の求人票を保護者にも閲覧できるようにしてほしい。</li> <li>・高校生向け、大隅地域の就職情報無料雑誌。</li> <li>・市内に就職が決まった人には祝金でも出れば地元に貢献する若者もでてくると思う。</li> <li>・紙面だけでは気づかないところもあるので、働いている人の言葉なども聞かせてもらえると参考にしやすいです。</li> <li>・自分の将来を早く決定することが重要だと思います。しかし、進学していろいろなことを学んでからでも遅くないと思います。人生は長いと思います。</li> <li>・鹿屋市でも就職できるたくさん企業のあったら良いと思います。</li> <li>・若者が都心から戻ってきてても、安心して就職を地元でできる様に、都心部と税金の格差が大きいのと、給料の格差が大きい。そのせいで地元での就職が難しいので、I・Uターンしてきた若者への税制問題に目を向けてほしい。自分の経験上、賃金の格差が大きく、物価も、都会より高く、所得税は前年度がかかってくるため帰郷 後1年目は税金を払うのが苦しかったのを覚えている。資格を持っていても就職先が中々決まらず苦勞したのを記憶していて、自分の子供世代になると消費税10%にUPしているので子供たちがこういう時に就職か進学が選択しなければいけないのがかわいそうである。I・Uターン組は所得税を1年遅らせるとか、そういう様な支援ができないかと思ひます。</li> <li>・若者が働いたり、住みたい環境が必要。</li> <li>・就職支援をするならばその企業の離職率を把握して欲しい。離職率が高い所はブラックでしかないし、高卒にはただただハラスメントしか残ってないので。あと、企業のうたい文句。少数精鋭だとか、アットホームな…とか、そういうところは間違いなく真逆だし、年中募集かけてるところは、就職支援の対象から外してください。</li> <li>・職場体験の回数を増やす。学校で全生徒を対象に体験談を話すような場を様々な職種でもうける。長期休業中のアルバイトを学校を通して募集する。</li> <li>・子供が三人いるが(今年21才、19歳、18歳)、誰一人として鹿屋に就職希望をしていない。理由は大きな企業は少なく、個人企業は家族でしており、閉鎖的。また、一つの所で長く働くのが当たり前という風潮もあり、辞めたくても辞めれない。など、田舎ならではの事が多い様子。そのため、地元で働く良さがわからないと思われる。</li> <li>・本人が県内への進学、就職を考えていない一番の理由は、鹿児島県はまだ男性優位の社会だと感じていることが大きいようです。なかなか難しいことだと思いますが、地域全体の意識改革がすすみ(小さいうちからの教育、地域や企業トップの方々の意識も変化してほしいですが)女性も男性も働きやすい地域になることが大切なのは、と感じています。意識が変わるような講演会や研修も大隅半島全体でもっとたくさん 計画して頂きたいです。まずはそこからだと感じています。</li> <li>・最低賃金は守られているが仕事の幅が広がるような企業が増えること？</li> <li>・若者が働いたり、住みたい環境が必要。</li> <li>・普通科を卒業後大学へ進学するも、情報系（パソコン）の資格を取得する機会が少ないので、休日、夜間にスキルアップできるような助成金や講義（教室）等設置して欲しい。</li> </ul>

## 高校生の就職に関する意識調査《保護者》

問7 お子さんの就職先を考えると、地元企業を検討すると思いますか。あわせて理由も教えてください。  
(1つ選択)

①はい（地元企業を検討する）
・ 近くにいる方が安心、近くにいるのが欲しい。
・ 何かあった時(病気など)にかけつけやすい。
・ 近くにいた方が相談したりいろいろなことを共有できる。都会は給料は高いが物価も高い。
・ 自宅から通って欲しい。
・ 地元で貢献して欲しい。
・ 県外に就職すると、県外の方と結婚されると思い、色々考えたときに県内に就職して欲しい。
・ 子どもの状況がある程度把握できるから。
・ 県外は物騒であったり、コロナや地震など自然災害等も多く心配
・ 県外に出なくても、地元で十分生活出来る将来があると思うから。(昔と違って)
・ 生活費を節約しお金を貯めて欲しい。
・ 貯金ができる。
・ 職種等で希望に沿う企業があれば選択肢のひとつになると思う。
・ 将来的には地元で働いて欲しい。
②いいえ（地元企業を検討しない）
・ 本人の意志を尊重したい。
・ 本人が県外希望、地元を出たがっている。
・ 一度は親元を離れ、都会での生活を経験して欲しいから。
・ 実家から離れて生活させてみたい。
・ 都市部の方が企業の選択肢が多い為。
・ 地元企業に希望する職種がない。
・ 就職を進める企業がない、将来性がない。
・ 良い条件の企業が少ない為。
・ 鹿屋市内は給料が安いし不便
③どちらとも言えない
・ 本人の意思を尊重
・ 希望する職業が、地元にあったら検討したい。
・ 賃金や福利厚生などの条件次第では地元企業も検討したい。
・ 地元で本人の就職したいと思う企業があれば地元でも良いが、県外など広い視野で検討したい。
・ 地元で働きたいと思う就職先があるかわからない。
・ 給与面もあるが、都市部の方が就職後のスキルアップも幅が広がりそう。また、誰も知らない場所で1度1人で生活する事で生きる力を身につけさせたい為。
・ 条件のいい所が少ない。
・ 鹿屋の企業があまりない。でも地元で働きたいと思っている。
・ まだ就職については考えていない。

## 高校生の就職に関する意識調査《保護者》

問11 卒業後に県外で就職しても、将来的には地元で働いてほしいと思いますか。あわせて理由も教えてください。  
(1つ選択)

<b>① そう思う</b>
・ 近くにいて欲しい。
・ やはり近くにいて欲しい。私自身県外（九州エリア）で働いていましたが、地元に戻ってきて良かったと思えるから。
・ 今の時代コロナのような不測の事態を考慮すると近くにいた方が良いと思う。
・ 色々な事を経験して将来は近くにいて欲しい。
・ 結婚出産の時に近くにいた方がいいと思うので。
・ 何かあった時、帰れる距離がよいから。
・ 外で学んできたことを地元で生かし、地元の活性化に繋げて欲しい。
・ 地元も高齢化が進み、人口減少がある。若者の活気が欲しい。
・ 少子化なので、地元に戻ってきて欲しい。
・ 何かあったときお互いにすぐ支えあうことができる安心感
・ 目が届くところにいて欲しい。（寂しい）
・ 将来、親の面倒をみて欲しい。
<b>② どちらかと言えばそう思う</b>
・ コロナ禍で行き来が難しいから。
・ 近くにいて欲しい。
・ 地元に戻ってくることで、親として安心感を得られるため。
・ 自分たちも親の近くに帰ってきたのでそう思う。
・ 私自身が親元を離れているので なるべく近くいて欲しい。
・ 娘は近くにいて欲しい。
・ お互いの緊急時に協力しあえるから。
・ 老後は地元で生活して欲しい。
・ 家の畜産の方があるので、将来は家を継いで欲しい
・ 安定した会社に就職できれば将来的には地元に戻って来て欲しい。
・ 育った街で働き、貢献して欲しい。
・ 地元の子どもたちが地元を誇りを持てる町になって欲しいから。
<b>③ どちらかと言えば思わない</b>
・ 働くのは本人なので、本人の考えに任せる。
・ 自分の将来は自分で決めて欲しい。
・ 地元で働いて欲しいと思うところがない。
・ 本人が県外を希望している。
<b>④ 思わない</b>
・ 本人の意思を尊重
・ 地元でいて欲しい気持ちもありますが、働くのは子供なので子供の考えに任せる。
・ 子供の人生なので私達、親が地元で働いて欲しいとは思わない。
・ 本人が楽しく働いて行けるなら地域にはこだわらない。
・ 就職先の選択が少ない為。（条件の良い求人が少ない為）
・ 永住するほど鹿屋市に魅力がないため。
・ 今の住居地が地元と言うわけでもないため。
<b>⑤ どちらでも良い</b>
・ 本人の意思を尊重
・ 決めるのは本人
・ 本人の人生なので。 親の考えを押し付けたくない。
・ 本人のやりがいのある仕事、就職先であれば地元に戻って来なくても良い。
・ 生活の上で都市部は、利便性がいろんな意味で良いと思う。田舎も本人の希望で就職するなら良いと思う。年を重ねるにつれ、少しは都市部の方が暮らしやすいとは感じる。（交通や人間関係など）
・ 特に地元へのこだわしなし。